



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月13日

上場会社名 サイバーステップ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3810 URL <http://www.cyberstep.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 類
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 落合 重正 TEL 03-5355-2085
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績（平成28年6月1日～平成28年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	1,180	65.8	22	-	△22	-	△50	-
28年5月期第2四半期	712	△8.5	△191	-	△239	-	△231	-

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 △37百万円 (-%) 28年5月期第2四半期 △226百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	△10.55	-
28年5月期第2四半期	△49.79	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第2四半期	1,205	868	69.3	175.30
28年5月期	1,295	897	67.3	183.18

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 835百万円 28年5月期 872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年5月期	-	0.00	-	-	-
29年5月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年5月期の連結業績予想（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,119	20.6	40	-	44	-	20	-	4.21

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期2Q	4,764,801株	28年5月期	4,764,801株
② 期末自己株式数	29年5月期2Q	44株	28年5月期	44株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期2Q	4,764,757株	28年5月期2Q	4,650,524株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は実施済みです。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策により、緩やかな回復が期待されます。その一方で中国経済の景気停滞やアジア新興国・資源国等の景気の下振れ、EU離脱等の問題の影響、さらに米国の今後の経済・金融緩和政策に関する不確実性の影響に対する懸念が高まるなど、先行きは依然不透明な状況が続いております。

わが国のオンラインゲーム市場においては、前連結会計年度より引続きユーザー数は伸びているものの、提供タイトルの増加・ソーシャルゲーム市場の拡大から事業環境が大きく変化を遂げております。

このような事業環境のもと、当社グループは当第2四半期連結累計期間におきまして、引き続き国際競争力のあるゲームの開発を続けるとともにクレイジーゲームアプリ「トレバ」の拡大に注力し売上高は大幅な増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,180百万円となり、前年同期に比べ、65.8%の増収となりました。

利益面につきましては、営業利益22百万円(前年同期は営業損失191百万円)、経常損失22百万円(前年同期は経常損失239百万円)、税金等調整前四半期純損失39百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失220百万円)となりました。

最終的には親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失231百万円)となりました。

当社グループはオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、1,205百万円となりました。これは主に、流動資産その他26百万円、有形固定資産15百万円、無形固定資産34百万円の増加があった一方で、現金及び預金145百万円の減少があったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し、336百万円となりました。これは主に、未払費用13百万円、その他の負債49百万円の増加があった一方で、短期借入金100百万円の減少があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、868百万円となりました。これは主に、利益剰余金が873百万円、為替換算調整勘定が12百万円、新株予約権が8百万円増加した一方で、資本剰余金が923百万円減少したことによるものであります。

なお、平成28年8月31日開催の第16期定時株主総会の決議により、資本準備金923百万円を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金923百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の補填を行っております。これにより、資本剰余金が923百万円減少し、利益剰余金が923百万円増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ104百万円増加し、533百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は51百万円増加(前年同期は239百万円の減少)しました。これは主に、税金等調整前四半期純損失39百万円、その他の資産の増加額27百万円の減少があった一方で、その他の負債の増加額49百万円、貸倒引当金の増加額25百万円の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は179百万円増加(前年同期は111百万円の減少)しました。これは主に、無形固定資産の取得による支出35百万円、有形固定資産の取得による支出34百万円の減少があった一方で、定期預金の減少額250百万円の増加があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により、資金は122百万円減少(前年同期は104百万円の増加)しました。これは、短期借入金の返済による支出100百万円、長期借入金の返済による支出22百万円の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期通期の業績予想につきましては、平成28年8月5日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第2四半期連結累計期間におきましては、22,927千円の営業利益を計上しましたが、前連結会計年度まで2期連続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しているものと認識しております。

しかしながら、継続企業の前提に関する重要事象等は存在しているものの、既に実施している施策を含む効果的かつ実行可能な対応(下記対応策)を行うことにより、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないものと判断しております。

<対応策>

今期の対応策(①～⑤)を今後も対応することにより、売上高向上、赤字幅の縮小を目指し、当連結会計年度の赤字解消に向けて注力する。

- ① 国内自社運営のアップデート等の施策見直し(毎週木曜日)を、国外の運営会社にも提案し、ロイヤリティ売上の向上を目指す。
- ② 外部委託業者に対する新規の発注を控え、オンラインゲーム・ソーシャルゲームの製作に注力することにより会社全体としての開発コストを抑制し、オンラインゲーム・ソーシャルゲームの内容の充実及び新規タイトルの開発を進めることで収益力向上を図る。
- ③ 販促費を収益力に見合った水準に適正化し、これまでの日本国内での自社運営で培った社内ノウハウを活かしながら最大効率化を目指す。
- ④ 中途採用などの採用計画を見直し、同時に現社員の業務最適化を図る等により、人件費および外部委託費を抑制する。
- ⑤ トレバサービスの拡大を実施し、収益構造の見直しを行い、収益幅の拡大を目指す。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	879,992	734,101
売掛金	197,563	190,757
商品	717	719
貯蔵品	18,596	27,155
その他	70,015	96,840
貸倒引当金	△16,737	△41,865
流動資産合計	1,150,147	1,007,709
固定資産		
有形固定資産	63,315	78,904
無形固定資産	595	35,531
投資その他の資産	81,711	83,095
固定資産合計	145,622	197,532
資産合計	1,295,769	1,205,241
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,242	1,102
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	41,356	38,004
未払金	77,207	76,927
未払費用	70,511	83,915
未払法人税等	9,816	8,202
その他	39,052	88,411
流動負債合計	339,185	296,562
固定負債		
長期借入金	58,967	39,965
固定負債合計	58,967	39,965
負債合計	398,152	336,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	999,188	999,188
資本剰余金	987,299	63,978
利益剰余金	△1,126,733	△253,669
自己株式	△27	△27
株主資本合計	859,727	809,470
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,088	25,776
その他の包括利益累計額合計	13,088	25,776
新株予約権	24,801	33,468
純資産合計	897,616	868,714
負債純資産合計	1,295,769	1,205,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	712,169	1,180,585
売上原価	205,067	301,867
売上総利益	507,102	878,717
販売費及び一般管理費	698,516	855,789
営業利益又は営業損失(△)	△191,414	22,927
営業外収益		
受取利息	308	67
その他	837	5,302
営業外収益合計	1,146	5,370
営業外費用		
支払利息	1,965	1,299
為替差損	20,132	22,540
貸倒引当金繰入額	26,016	25,128
その他	1,312	1,863
営業外費用合計	49,428	50,831
経常損失(△)	△239,696	△22,532
特別利益		
新株予約権戻入益	19,636	1,247
特別利益合計	19,636	1,247
特別損失		
固定資産除却損	-	2,770
特別調査費用	-	15,300
特別損失合計	-	18,070
税金等調整前四半期純損失(△)	△220,059	△39,355
法人税、住民税及び事業税	11,502	10,901
法人税等合計	11,502	10,901
四半期純損失(△)	△231,561	△50,257
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△231,561	△50,257

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
四半期純損失(△)	△231,561	△50,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207	-
為替換算調整勘定	4,924	12,688
その他の包括利益合計	4,717	12,688
四半期包括利益	△226,844	△37,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△226,844	△37,569
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年6月1日 至平成27年11月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年6月1日 至平成28年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△220,059	△39,355
減価償却費	60,510	17,643
株式報酬費用	5,195	9,914
長期前払費用償却額	157	-
貸倒引当金の増減額（△は減少）	26,262	25,128
受取利息	△329	△67
支払利息	1,965	1,299
新株予約権発行費	59	-
株式交付費	962	-
為替差損益（△は益）	19,073	14,585
固定資産除却損	-	2,770
新株予約権戻入益	△19,636	△1,247
売上債権の増減額（△は増加）	△3,623	8,184
たな卸資産の増減額（△は増加）	494	△8,558
仕入債務の増減額（△は減少）	172	△139
前受金の増減額（△は減少）	627	△596
未払費用の増減額（△は減少）	△2,226	13,243
その他の資産の増減額（△は増加）	△19,700	△27,363
その他の負債の増減額（△は減少）	△79,071	49,771
その他	△181	△287
小計	△229,346	64,923
利息及び配当金の受取額	329	67
利息の支払額	△2,065	△1,283
法人税等の支払額	△11,057	△12,574
法人税等の還付額	3,057	109
営業活動によるキャッシュ・フロー	△239,082	51,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	19,320	250,063
投資有価証券の取得による支出	△20,000	-
有形固定資産の取得による支出	△4,882	△34,005
無形固定資産の取得による支出	△100,636	△35,229
敷金及び保証金の差入による支出	△5,543	△3,000
敷金及び保証金の回収による収入	389	1,451
その他	-	598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,352	179,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	-	△100,000
長期借入金の返済による支出	△26,167	△22,354
新株予約権の発行による収入	16,341	-
ストックオプションの行使による収入	114,412	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,587	△122,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,432	△4,602
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△252,280	104,164
現金及び現金同等物の期首残高	905,791	429,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	653,510	533,371

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月31日開催の第16期定時株主総会の決議により、資本準備金923,320千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金923,320千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の補填を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が923,320千円減少し、利益剰余金が923,320千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)及び当第2四半期連結累計期間

(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

当社グループは、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。